

## ひるまず、たじろがず

今年度の大学入試センター試験の願書受付が行われ、本校では、受験希望者227名が出願書類を提出し、記載事項を担任と進路指導部で確認した後、10月1日(木)に無事に出願を済ませました。

今回の入試が、センター試験最後となり、3年生がその入試に臨むこととなります。そして10月10日(木)には、センター試験まで残り日数がちょうど100日となり、各クラスにカウントダウンの日めくりを設置しました。

3年生の中には、これから国公立大学の推薦入試に挑戦する生徒もいますが、いずれの手段で受験に臨むにしても、今まで積み上げてきた「力」が問われます。今から楽しい大学生活をイメージしている人も多いかも知れません。バイトにサークル、部活…と大学生だからこそできる経験がたくさんあります。しかし、大学は「学問をする場」であり、その場に見合う「力」を持って高校を卒業して欲しいと願っています。

そして、3年生はこれから毎週のように模擬試験が続く時期に入り、受験に向けていよいよ正念場となってきます。受験が近づいてきていることを実感している人も多くなってきているかも知れません。また、焦りを感じている人もいるかも知れません。でも、これから受験までの数ヶ月間が、現役生が高校3年間で最も伸びる時期でもあります。入試本番までの学習計画をイメージし、一日一日の積み重ねを大事にがんばってほしいと思います。

さあ、「ひるまず、たじろがず、」自分を信じて全力で前進していきましょう。

1・2年生の生徒にとっても学校生活は折り返し点を過ぎて後半戦に入り、落ち着いて学習に取り組まなくてはならない時期になりました。ここまでの学習状況を振り返り、もう一度気持ちを引き締めて、目標を持った生活を送ってほしいと思います。

(文責：堀)

### 『3年の窓』

期末考査が終わっても、休憩できないのが受験生です。

時間軸で試験を追いかけてみると

10/12(土) ベネッセ駿台記述模試 → 10/19(土) 全統記述③ → 11/2(土) 全統マーク  
11/26(火) ~ 11/29(金) 後期中間考査 → 11/30(土) 全統マークプレ模試

という予定です。

予備校主催の模擬試験はあと4回しかありません。

個人的には名大オープン模試や早慶レベル模試なども受験して、己の武器を磨いてほしいところです。

ところで授業も模試もやりっ放しが一番いけません。

授業は予習復習が大事ですが、知識の蓄積に関する科目、例えば英語表現のような文法・語法の知識を学ぶものは、特に復習が必須です。

模試も解説書に蛍光ペンでアンダーラインをひきながら、単語、文法、語法の知識を蓄積することが重要で、長文問題や不適切な文を抜き出す問題などは、どうしてそれが正解になるのか、その確認が大切です。

自分も受験生時代を思い出すと、模試の解説書はポロポロになるくらいに読み込みました。今と違って紙質が悪かったせいもありますが。

自己採点しては不愉快になり、結果が帰ってくれば、また不愉快になり、の繰り返しでした。

我慢して勉強を続ければ、いつか必ず結果が出るはずだ、ともすれば不安になる自分に言い聞かせて目の前の問題を解きまくりました。

問題さえ解いていれば、勉強さえしていれば、受かるかスベるか、といった不安から逃げられます。

何もせずに机の前に座って不安になっているのが一番いけません。精神衛生上よくないです。

学生時代だけです、自分の努力が得点や偏差値という形で正当に評価されるのは。

社会人になると、学閥や派閥、人間関係やコミュニケーション力の有無が問われ、自分の仕事の成果以外の部分が評価されることも多くあります。それが学生と社会人の大きな違いです。

今みなさんがやるべきこと。受験勉強なんていやだ、と愚痴ることでなく、一目散に受験校突破のために勉強することです。頑張ってください。応援しています。

(文責：松田)

## 12年の窓

期末考査、お疲れ様でした。みなさんの結果は、①頑張ったから高得点 ②頑張ったけど低得点

③頑張らずに高得点 ④頑張らなかったから低得点 どれでしたか？

①②の人はいいんです。結果はどうあれ頑張ることができた。②の人もやり方を見直せば、次に必ずつながると思います。頑張れたことに対して、自信を持ち続けてください。そして、次も頑張りましょう。

厄介なのは③④の人たちです。たかが、定期テストですら頑張れなかった人たちが、来年の受験を頑張れますか。君たちの年から、入試が大きく変わります。英語も複雑でしたね。そんな中で頑張れない人は、自分の夢や希望を叶えられますか。

一週間頑張れた人は一ヶ月頑張れる、一ヶ月頑張れた人は一年間頑張れる、一年間頑張れた人は一生頑張れます。勉強でも部活でも何かに必死で頑張ることを若い時に経験することが、人生を自分の思い通りにしていくのだと思います。

さあ高校生活も残り半分です。次のテストは11月にある進研模試です。たかが、模擬試験ですが、頑張ることはできますか。(文責：後藤佑)

## 11年の窓

涼しい秋風が吹く日が増えてきて、カーディガンやベストを着用する生徒が多くなってきましたね。日が落ちるのも早くなり、季節の移り変わりを感じます。

さて前期期末考査が終わり、いよいよ後期が始まりました。多治見高校1年生として半分を終えたこととなります。勉強に部活動、学校行事へと色々なことを経験してきました。みなさんはそれらの学校での活動を充実したものにできたでしょうか。こういった節目に振り返り、1年生としてあと残り半分の期間をより素敵な時間にしてもらいたいです。

期末考査では自分の実力を発揮できたでしょうか。何よりも大事なことは試験までの過程です。前回中間考査のときに振り返った内容は生かされましたか。前回うまくいった内容は、今回どうでしたか。もしくは同じ失敗を繰り返していないでしょうか。何度も繰り返すようですが、試験勉強の前に必要なことは、①学習計画を練る、②学習する、③②の途中で学習計画を微調整する、④範囲を終了させる⑤できなかった問題をもう一度解く、という学習過程です。物事は計画通りにいかないこともあります。その度に現状を見つめ直して軌道修正することが大事です。計画して、実行し、結果を振り返り、改善する。この過程をPDCAサイクルといい、勉強だけでなく仕事など幅広い場面で活用できます。みなさんは、このサイクルが機能していますか？歯車が途中で外れて(振り返るだけ、勉強するだけ、計画するだけ)しまい空回りしていませんか？文理選択を決定する時期が近づいており、11月には進研模試があります。ぜひ自分の得意分野を磨いて、水曜補習の招待状を受け取れる人が増えると嬉しいです。

また頭の中で振り返ることも良いのですが、ポートフォリオノートに記録として残しておきましょう。受験に必要ですし、書くことで考えが整理できて良いことが多いですよ(^▽^)/ (文責：渡邊完)

## 進路指導部からのお知らせ

『大学入試情報』について、多治見高校のホームページにリンクを貼りました。」

3年生向けの「大学入試センター試験」に関する情報と、1・2年生向けの「大学入学共通テスト（英語4技能試験情報を含む）」に関する情報」です。

今後も大学入試に関する情報提供を進めていきたいと考えていますので、ぜひ一度多治見高校のホームページにアクセスしてみてください。

【トップ画面】→Information【お知らせ】→下段の「大学入試情報」

The screenshot shows the homepage of Tajimi High School. The main banner features the school's name and the slogan '進取 努力 創造' (Shinju, Nouryoku, Soudo). Below the banner is a navigation menu with 'HOME', '在校生の皆さんへ', '中学生の皆さんへ', '保護者の皆さんへ', '卒業生の皆さんへ', and '関連リンク'. The 'Information' section is expanded, showing several news items. The last item, '大学入試情報 (センター試験・大学入学共通テスト) についてはこちらをクリック', is highlighted with a red rectangular box.

The screenshot shows the 'University Entrance Information' page. It has a 'MENU' sidebar on the left with categories like '学校案内', '多治見高校単位数について', '多治見高校生の活躍', '多治見トピックス', '行事予定', '自然科学コース', '進路', '部活動&部活動成績', 'アクティブ・ラーニング', 'カリキュラムマネジメント', 'ふるさと教育', '生徒会トピックス', and '同窓会'. The main content area is titled '「大学入学共通テスト」に関する情報' and contains several links: '「大学入試センター」ホームページ', '「文部科学省」ホームページ', '「英語4技能試験情報サイト」', '「大学入試英語ポータルサイト」', '「大学入試英語成績提供システムFAQ」', and '「センター試験」に関する情報'. A hand icon points to the '大学入試情報' link at the bottom of the page.

(文責 堀)